

## 教材⑩ SNS

知ってごまかせ

### ！ 10歳代によくある相談事例

#### 事例1 知らない人との出会い

SNSで知り合った人とやりとりするうちに親しくなり「近くに住んでいるから会おう」と言われた。自分と同じ学年で、送られてきた写真も好印象だったので会うことにした。でも、待ち合わせ場所に来たのは写真とは別人であった。



ひとことアドバイス

インターネット（以下「ネット」という）上には悪意をもち、意図的に接触してくる人がいます。やりとりを繰り返すうちに親しくなったように感じますが、相手がそのように仕向けているだけかもしれません。

また、年齢や性別、写真など本当にその人のものかどうか事前に確認することはできません。ネット上のやりとりについては、プロフィール情報や相手が書き込んだ情報をうのみにしないようにしましょう。

「恥ずかしい写真を送り合おう」と言って写真を送らせておいて、後で「写真をネットではばらまく。言うことを聞け」と脅してくることもあります。SNSを含むネット上では、鍵をかけて（公開範囲を設定して）いても、誰かがスクリーンショットを撮っているかもしれません。一度投稿すると完全に削除することは極めて困難です。

ネット上に写真を投稿することは、街中に写真を貼ることと同じだというぐらいの感覚を持って、よく考えて投稿しましょう。被害にあった場合は警察に相談しましょう。



#### 事例2 写真の位置情報

写真を撮って日常的にSNSに投稿している。ある日、知らない人から「君は〇〇高校に通ってるんだね」というメッセージが送られてきて、その後も「今日はバイトは休みだったの?」「家で飼っている犬、かわいいね」などと送られてくるようになった。ときどき、自宅近くで不審な人を見かける。SNS上に個人情報は何も入れていないのに、気持ちが悪い。



ひとことアドバイス

スマートフォン（以下「スマホ」という）などで写真撮影をする場合、位置情報（GPSなど）がONになっていると、撮影した場所が写真に記録されます。その写真をそのまま投稿すると、位置情報がついたままになるので、撮影場所が特定され、学校や自宅などがわかってしまいます。

スマホやタブレットで写真を撮影するときは、端末の「設定」画面で位置情報をOFFにしておきましょう。

また、写真を投稿するときは、「近所の〇〇公園でお花見!」、「下校中。やっと駅に着いた」など、場所の特定が容易にできるようなコメントは避けましょう。さまざまな情報から、個人や場所を特定することができる場合があります。ストーカーの場合は警察に相談しましょう。

2017年1月3日、改正「ストーカー行為等の規制等に関する法律（ストーカー規制法）」が施行され、SNSなどによる付きまといが新たに規制対象となりました。



### 事例3 フリーアクセスポイント

普段からパスワードなしでネットにつながるアクセスポイントで、スマホを利用している。無料だし不都合を感じないが、友だちから「フリーアクセスポイントは個人情報が漏れるから危険」と教えられた。このまま使っていても大丈夫か。



ネットにつながる場所をアクセスポイントといえます。家庭や企業などのようにセキュリティを施しているものと、誰でも使えるフリーアクセスポイントがあります。

フリーアクセスポイントはパスワードなしで利用することができますが、セキュリティ設定がないため、スマホなど端末内の情報を盗まれる恐れがあります。電話帳データ、写真、動画、メール、サイト検索履歴、買い物履歴、ID・パスワードなど個人情報が悪意のある人に漏れる可能性があるということです。

モノやサービスを売りたい企業にとって個人情報は重要です。どんな人が何に関心があるかがわかるからです。企業や悪意のある人に個人情報が漏れた場合、セールスだけでなく、架空請求などに悪用される恐れがあります。

安全性が確認できないフリーアクセスポイントは利用するかどうかよく考え、利用する際はパスワードが必要なフリーアクセスポイントを利用しましょう。また、ネットにつながる携帯ゲーム機は、高度に暗号化した接続ができないため、フリーアクセスポイントでは利用しないようにしましょう。



消費生活相談事例以外にも、社会問題となった事例があります。

#### 問題行動の投稿

- ❶ コンビニでバイト中、バイト仲間と一緒にアイスクリームのショーケースに入った写真を撮って投稿。
- ❷ 回転すし店で食事中、しょうゆの注ぎ口を鼻の穴に入れた写真を撮って投稿。
- ❸ 電車が来ていないときにホームから線路に降り、友人と一緒に写真を撮って投稿。
- ❹ 友人とのたこ焼きパーティーで未成年者がお酒を飲み、たばこを吸っている写真を撮って投稿。
- ❺ フォロワーを増やすために、公園の鳩をいじめている動画を撮って投稿。
- ❻ フォロワーを増やすために「10リツイート (RT) いったら裸の写真をさらす」と投稿。



SNSでの問題行動の投稿が社会問題になっています。①～③は現場となった店舗が廃業に追い込まれたり、その店舗から損害賠償を請求されたりするなど、ちょっとしたイタズラではすまないほど大きな問題になっています。④～⑥については、モラルや法律違反です。フォロワーが増えるのはうれしいことですが、SNSが一般的になった今、このような行為によって、大学入学や就職を取り消されることもあり、将来に大きな影響を及ぼす可能性があります。

また、投稿者が特定され、個人情報が公開される場合もあります。拡散されたり、まとめサイトに掲載されたりすると回収は不可能です。

ネットの世界は、現実と密接につながった世界です。現実でしてよいこと、悪いことは、ネット上でも同じです。